

情報連絡員報告総括表（平成27年10月分）

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名（100%）

業界の景気動向（前年同月比）

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>（臨時・パートを含む）</small>			業界景況		
		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化
製 造 業	食料品		4			4		2	2			4		3	1		3	1		4			3	1		3	1	
	繊維工業	1	1	1		2	1	1	1	1		2	1		1	2		2	1		2	1		3			1	2
	木材・木製品			1		1					1		1		1			1			1		1				1	
	紙・紙加工品		1	1		2			2		2		1	1		2			2		2		2			1	1	
	印刷			1		1			1		1		1		1			1			1		1			1		
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品	3				3			3		3		1	2		3		2	1		3		3		1	2		
	鉄鋼・金属			1			1		1		1		1		1		1		1		1		1				1	
	一般機器		2	1		3			2	1		3		1	2		3		2	1		3				2	1	
	電気機器		1			1				1		1		1		1			1		1		1				1	
輸送機器		1			1			1		1		1			1			1		1		1				1		
その他																												
小計		4	10	6		18	2	3	13	4		18	2	1	10	9		17	3	2	10	8		19	1	1	10	9
非 製 造 業	卸売業	1		1		2		1	1			2			2			2					2			1	1	
	小売業	2	3	1		6		2	3	1		4	2		4	2		3	3				5	1		3	3	
	商店街		1			1			1			1		1				1					1			1		
	サービス業	2	2	1				1	4			5		2	2	1		4	1				5			5		
	建設業	2	2						4		1	3		1	3		1	3					4		1	3		
	運輸業		1						1		1		1		1			1					1			1		
	その他		1						1		1		1		1			1					1			1		
小計		7	10	3		9		4	15	1	1	17	2	4	13	3	1	15	4				1	18	1	1	15	4
合計		11	20	9		27	2	7	28	5	1	35	4	5	23	12	1	32	7	2	10	8	1	37	2	2	25	13

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(平成26年10月～平成27年10月)

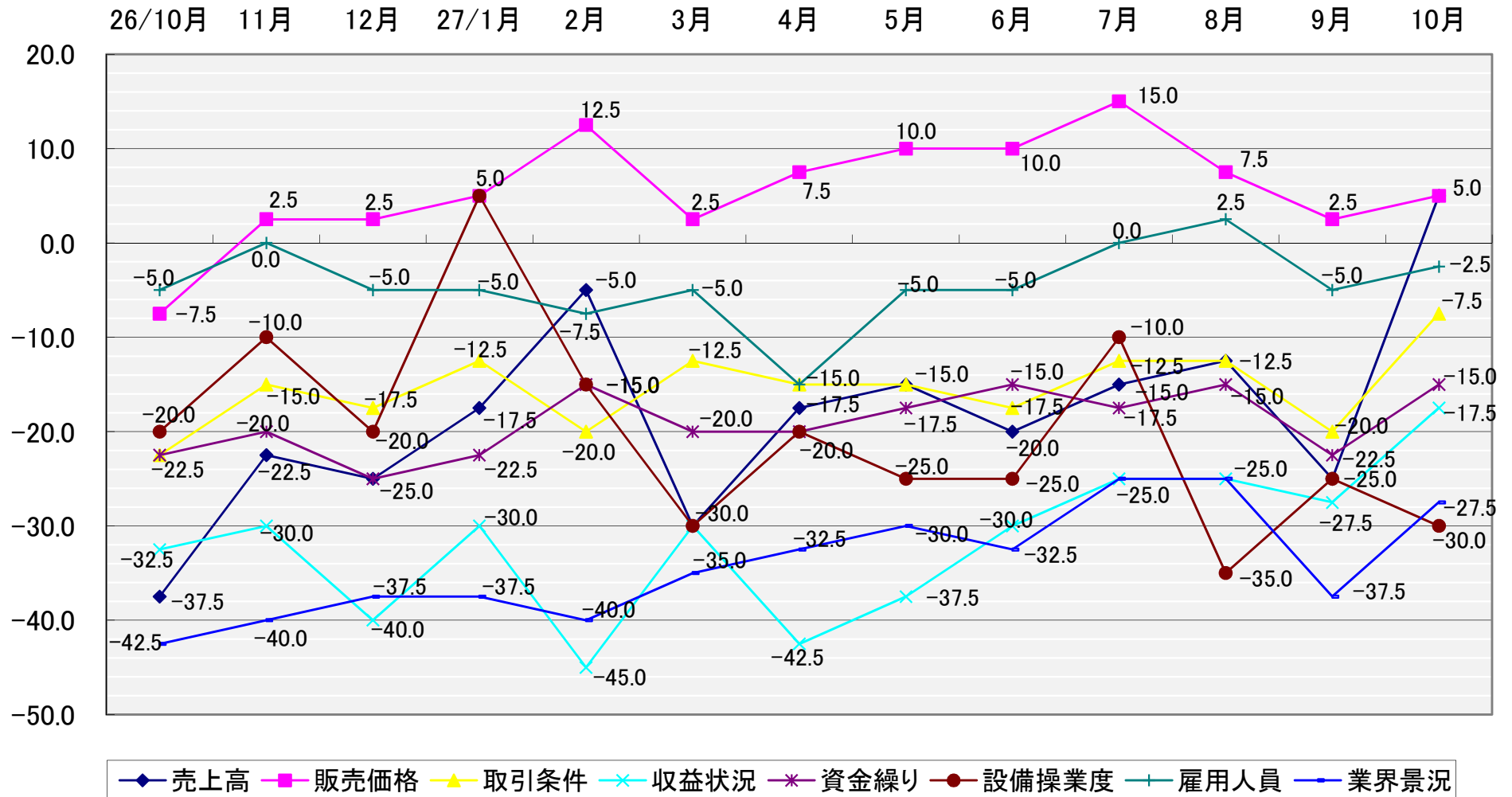
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	26/10月	11月	12月	27/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	増減
売上高	-37.5	-22.5	-25.0	-17.5	-5.0	-30.0	-17.5	-15.0	-20.0	-15.0	-12.5	-25.0	5.0	30.0
販売価格	-7.5	2.5	2.5	5.0	12.5	2.5	7.5	10.0	10.0	15.0	7.5	2.5	5.0	2.5
取引条件	-22.5	-15.0	-17.5	-12.5	-20.0	-12.5	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	-20.0	-7.5	12.5
収益状況	-32.5	-30.0	-40.0	-30.0	-45.0	-30.0	-42.5	-37.5	-30.0	-25.0	-25.0	-27.5	-17.5	10.0
資金繰り	-22.5	-20.0	-25.0	-22.5	-15.0	-20.0	-20.0	-17.5	-15.0	-17.5	-15.0	-22.5	-15.0	7.5
設備操業度	-20.0	-10.0	-20.0	5.0	-15.0	-30.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-35.0	-25.0	-30.0	-5.0
雇用人員	-5.0	0.0	-5.0	-5.0	-7.5	-5.0	-15.0	-5.0	-5.0	0.0	2.5	-5.0	-2.5	2.5
業界景況	-42.5	-40.0	-37.5	-37.5	-40.0	-35.0	-32.5	-30.0	-32.5	-25.0	-25.0	-37.5	-27.5	10.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・平成27年10月分)

	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	醤油味噌	10月に組合員が1名廃業し、組合員数は40名となった。相変わらず厳しい業況が続いている。10月23日(金)～25日(日)に開催した『三重しょうゆ街道』では3日間で延べ6,000食程の味見があり、数千名の来場者があった。
		豆腐	原材料の大豆は国産、輸入ともに依然として高値で製造原価を押し上げている。各自商品価格の値上げを模索している。
		麺	製麺業界では伊勢うどんはやや上昇傾向の兆しがかがえるが、他の商品は横ばいである。まだまだ中小企業の取り巻く環境は厳しいが、前向きに取り組んでいく。今年度もイベント事業が目白押しで、11月7日、8日うどんサミット(蒲郡市)、12月12日、13日年明けうどん大会(香川)が開催される。伊勢うどんをPRしていきたい。
	繊維工業	テントシート	9月を過ぎたあたりから業況は下降傾向が続いている。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	朝夕の冷え込みもあり、冬用の食品、衣料等向けの動きが例年並みに出ている。顧客の新しいアイテムの動きは少なく、全体量としては低調である。
		古紙	10月期の仕入量は、前年比で段ボール：約97%±5%、新聞・チラシ：約90±7%、雑誌・雑紙・その他合わせて：約91±7%の中で推移している。段ボール古紙の集荷は落ち込みが少ない。新聞雑誌類の集荷は相変わらず悪い。原因をよく調べて対策を試みるしかない。伊勢志摩サミットの話が、ニュースに出ているが三重県発信の県域全体プラス中部圏並びに全国への景気浮上になるよう願っている。秋需は普通として早急な冬の到来で冬物需要に期待している。製鉄原料は、まだ底値が見えず見通しは立たないが、いずれか古紙にも来るように思う。準備を怠らずこつこつ更なる努力をする。
	印刷	印刷	当組合が発行した県民手帳の掲載ミスにより関係各位、書店・販売店や購入者に多大なる迷惑をかけた。猛反省とともに何より一刻も早い対応、対処を組合として進めているが、今回の件で県との連携の難しさを痛感した。
	窯業・土石製品	伊賀焼	10月も好天が続き、また、ガソリン価格も安値を維持している影響もあって、入館者、売上げとも昨年を上回った。(伊賀焼伝統産業会館、古陶館とも)
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は9月と比べ若干増加したものの取り扱う製品の種類、鍍金の種類によって増加するもの、減少するものに分かれている。半導体関連は9月より更に減少し、この状況は本年度いっぱい続きそうである。4月以降は徐々に増えると予測しているが、来年1月以降でないとならぬ。
	一般機器	北勢	各組合員の職種に違いはあるものの、経済活動をすすめる中、我が国の環境の良し悪しに影響されるのは中小企業の宿命ともいえる。先般も組合員の一社が自主廃業した。淋しさがつのる。他国の経済に左右されない強い日本を再構築したい。
北勢		先月から特に変化はない。	
電気機器	南勢	下期のすべりだしはまずまずで、10月の操業度も昨年と同様の動きを見せている。下期の行き止まり感はあるが、状況は好転する様に願いたい。	
輸送機器	北勢	鈴鹿市内の大手自動車メーカーでは10月から休日振替して上期の生産減を挽回するとの予定だったが、未だ国内需要は戻らず、振替出勤の動きはなくなっている。しかし期間従業員の雇い止めは一段落し、期間満了者との入れ替えもあったので、底はついたのではないかと期待している。	
非製造業	小売業	青果	野菜：前半は産地の台風被害の影響で大きくレタス、キャベツ、ハクサイは入荷が減り高値続き、ジャガイモ、玉葱は北海道から順調に入荷し、価格は安定した。後半は、キャベツ、ハクサイ、ほうれん草は高値で推移しているが、天候が安定し、生育は順調になり野菜全般に安値が期待できる。特に地場産が本格的に入荷の予定で、11月期は期待できる。 果物：前半は、県内産みかん、長野産リンゴ、柿、種なし柿、次郎柿と果物は豊富でお買い得であった。後半は山形産ラフランスが旬、リンゴ、みかんは品種の切り替わりで入荷が減少気味であった。
		自転車	さわやかな季節となり、各地でサイクリング大会が開催されている。毎月の売上が減少するも、10月ようやく昨年並みの売上実績を示した。そんな中自転車加害者となる事故は増加傾向にあり、2009年に比べ4割増となった。10月22日愛知県で開催された日本交通管理技術協会主催の中部ブロック会があった。「自転車保険、賠償に備えて」と題し、各県より発表があり、その中でも保険加入者に補助金が出る市もあり、通学証の発行にはTSマークが必要としていく等、整備・点検が必要とする各店舗はこの制度が各県に広まることを期待するところである。

非製造業	小売業	家電	家電業界の上期（4-9月）の概況は、販売面では7月以降猛暑の影響を受け、前年をクリアしていると思われる。収益面で量販店は、付加価値商品の販売強化と構造改革等で収益アップしている。秋商戦に入り専門店ルートは年末まで顧客との接点活動を推進しており、同時に各地区で合同展示会を実施しているが、厳しい状況に変わりはない。引き続き年末商戦に向け、訪問活動による見込み客情報を掴み、個店等と運動した活動を推進している。
		石油	10月のガソリン出荷数量について、三重県の販売状況は前年対比102%前後であったが、先月同様に販売価格競争の影響により収益が中々改善しない状況である。各産業において景気が幾分回復基調になってきており、人材採用も増えてきているが、SS業界については人手不足の影響が大きく、SS運営を行う上で整備士等の技術者の確保が今後ますます厳しい状況になりそうである。
		スポーツ用品	10月から11月にかけて我々業界及び組合員は、来年4月に入学する新中・高生の体育服装の決定に全精力をつぎ込む時期である。高校1校の売上は300~600万円くらいになるので大きなビジネスである。ただ、中国の件費の高騰と円安の関係で旧価格に比べてかなり上昇しているが、学校の事務がこのことを理解出来ない人が多いので困る。
	商店街	熊野	昨月から商店街内の朝市イベントにて使える地域振興券を活用した「いこらいスーパーお買い物券」は今月で2回目となり、市政10周年の記念事業も商店街内の会館で行われ先月より多くの集客と売上をあげた。ただ、出店参加事業者については市内事業者数が半分強にとどまっており、今後は更に参加者を増やし、市内事業者の活性化につなげる必要を感じられる。
	サービス業	旅館	秋のシーズンで天候にも恵まれ、各地とも賑わっていたようである。特に旅行券の発売以来、好調な業績が続いている。中でも伊勢志摩地域においてはサミットへの期待感や好印象が集客に繋がったのか、志摩市の中規模旅館ではサミット決定以来、旅行券との相乗効果もあって、毎月前年比10~20%売上を伸ばしている。
		飲食業	来期は伊勢志摩サミット開催や県による外国人訪問客の支援などで、景況の回復が期待される場所であるが、人件費を除く経費節減を行う会員が多くみられる。店舗の知名度をインターネット等により上げる工夫を行うとともに、従業員教育の徹底や提供する飲食物の質、サービスの向上を充実させ、集客力アップにつなげる必要があると思われる。
		警備業	繁盛期であり、仕事量はいくらでもあるが、人員不足である。
	建設業	総合工事業	公共事業の早期発注の影響が当月の受注高は対前年同月比で30%程度の落ち込みとなっている。特に伊賀・尾鷲の落ち込みが大きい。
		内装工事業	前月の悪い流れから一転し、今月は売上等が前年対比で増加となった。このまま年末まで好転するかは微妙である。
		水道工事業（北勢）	今月に関しては、特に大きな変化も見られずに推移している。労務単価の上昇傾向はまだまだ続いていると思われる。
運輸業	トラック	輸送貨物が減少傾向にあり、収益が低下している。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	組合のイベント事業の助成金があれば教えて欲しい。
一般機器	北勢	TPPも妥結に至った。これを受けてどうしていくのか？他国に資金供与する前にやるべき事があるのでは？
	南勢	日本は諸外国と比べ、祝祭日が多いと聞いた。先のシルバーウィークでも会社の給与振込作業で通常給与日の2、3日前にデータを銀行に送付するのだが、銀行が休みの関係でぎりぎりとなった。中小企業は祝日稼働のところも多く、特に公共性の高い官庁や銀行には配慮願いたい。
小売業	スポーツ用品	グローバルな経済の変動で価格の安定がしにくいことを(学校の事務担当)理解できる様にしてほしい。
サービス業	旅館	急増する外国人旅行者の受け皿として、無許可の民泊が大都市圏において急増している。旅館業法に違反している無許可の民泊を、サミットを控える三重県としてはテロ対策等、治安の維持からも取り締りの強化をしていただきたい。